

阿蘇医療センター広報誌



Take Free

ご自由にお持ちください

特別号

2016年10月発行



Contents

- | | | | |
|--------------------|--------|-------------------|---------|
| ◆表紙 | P 1 | ◆特殊外来記事 | P 13 |
| ◆院長挨拶（事業管理者） | P 2・3 | ◆新人紹介 | P 14・15 |
| ◆災害時の院内の様子 | P 4・5 | ◆トピックス | P 16 |
| ◆災害関連特集 | P 6～11 | ◆糖尿病教室／編集後記 | P 17 |
| ◆診療体制 | P 12 | ◆皆様からの励まし | P 18 |

職員募集



詳しくはHPをご覧ください

院長挨拶

本年4月の熊本地震で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

当院は、平成26年8月に免震装置を備えた災害拠点病院「阿蘇医療センター」としてオープンしましたが、熊本での大地震を経験したことがない私たちにとって、免震装置がこれほど重要な役割を担うとは思ってもみませんでした。その免震装置に守られ、全医療機器に被害が出ることなく機能することができました。電力は非常用電源で、水は上水貯水槽（30t）と雑用水貯水槽（70t）を備えていたため、病院の機能、医療水準は低下することなく、救急患者さんの受入れや入院・外来患者さんの治療を円滑に対応できました。

この非常事態を支えるため、職員は一丸となりわが身、わが家庭を顧みず、病院の機能維持のため不眠不休で対応しました。また、全国各地から多くの応援をいただきました。DMAT（災害派遣医療チーム）、医師（諏訪中央病院・かりゆし病院）、薬剤師、看護師、医療技術職、熊大附属病院の医師、看護師など100人を超える方々に当院で活動していただきました。このような応援をいただいたことで、受診される患者さんへの対応のみならず、阿蘇医療圏内の避難された多くの住民の皆様に対し、当院に設けられたADRO（阿蘇地区災害保健医療復興連絡会議）から各避難所に向けて、ノロウイルス感染予防、深部静脈血栓予防、心のケア等に対応する専門チームが派遣されました。まさに阿蘇医療圏の中心的な役割を担えたのではないかと考えております。

国道57号線、豊肥本線の開通のめどが立たない現状では、阿蘇地区の医療環境は厳しい状況が継続することが予想されます。今までは救急疾患（脳卒中や心筋梗塞）が熊本へ流出していた状況を地域で完結できるような体制づくりを行ってまいりました。これからは、熊本市内で受診しなければ診療できなかった特殊疾患（難病、がん、重症糖尿病など）にも目を向けて当院で対応できる体制を構築してまいります。また医療・介護・福祉に関して横断的に対応できる機能も充実させていきます。

本年度の診療体制に関しましては、7月から新たに医師を迎え常勤医師が10人体制となり、また薬剤部は4月から5名の薬剤師の先生に就任いただき7人体制となり、病棟での服薬指導等にも対応できるようになりました。

このほか、医療機能や医療サービス等の充実並びに管理運営機能等の強化のため、一部の診療機能と病院全体の組織構成等について、いくつかの見直し・改編を行いましたので紹介します。

◇診療機能に関しては、4月から循環器内科の医師並びに医療技術スタッフが、心臓カテーテル検査・治療を時間外（土・日・祝を除きます。）も行うことにしました。◇検査部門等については、検査等の効率を図るため医療技術部を設置し機能等を一元化しました。◇医療連携については、地域の医療機関・施設との連携や患者さんの入退院支援等の機能をさらに充実させるため、地域医療連携部を設置しました。◇事務部については、機能強化を図るため、総務課（総務管財係・経営企画係）・医事課（医事係・医療情報係）の二課制としました。◇健診室につきましても体制を整備し、様々な検査設備・機器を活かした検査項目の充実を図りましたので、予防医療に是非ご活用いただきたいと思います。

なお、診療体制につきましては上述しましたように、地震後の国道・JRの不通に伴う医療需要の変化に対応するため、特殊外来として◆神経難病 ◆小児PTSD（ストレス障害） ◆小児特殊疾患の外来を開設することとしました。これ以外にも、がん疾患、肝疾患等について整備していくこととしております（現在の当院の診療体制等につきましては、12頁をご覧ください）。

病棟については、7月から、4階病棟の21床を地域包括ケア病床として運用を開始しました。急性期治療後の患者さんや病状が安定した患者さんに対して、専従のスタッフが退院や介護施設等への入居等について支援します。

更に、阿蘇郡市医師会並びに阿蘇郡市歯科医師会のご協力をいただき、9月から、開放型病床5床も開設しました。開放型病床の登録医であるかかりつけ医の先生と共同で診療を行っていただく病床です。入院から退院後まで継続した医療を提供するシステムです。

また、教育研修支援の取り組みについてですが、医師については院外各機関から昨年度を上回る受入れ依頼がっており、基幹型研修病院と連携した初期研修医及び後期研修医（専門医研修）の受け入れをはじめ、医学部学生の臨床実習生、薬学実習生、各種の医療技術者養成施設の実習生、資格取得後の研修生を受入れております。このほかにも、院内外の医療関係者向けの研修会の開催や住民の皆様を対象とした出前講座も開設しております。

地震から4ヶ月経った今も、阿蘇圏域から大津町・熊本市内方面への幹線道路・鉄道の復旧の見通しは立たず、これから3～4年間は不便を強いられますが、当院は今後の地域の医療上の必要性に配慮しつつ、各医療機関・施設の皆様と更に連携を深めて、より良い医療の提供に取り組んでまいります。

病院事業管理者（院長） 甲 斐 豊

開院記念事業として市民公開講座・健康フェスティバルを開催

当院は平成26年8月に開院して2年が経ちました。8月6日（土）、午前中に院内研究発表会を開催し、午後から開院記念事業として市民公開講座と健康フェスティバルを開催しました。市民の皆様や市外からも多数の方々にご来場いただきました。ありがとうございました。

市民公開講座では、熊本地震をテーマに、第一部では「前震・本震に耐えて」の演題で当院の赤塚院長相談役に、第二部では「熊本地震に対する保健医療活動報告」の演題で阿蘇保健所長の服部希世子先生に講演いただきました。聴講者には、建物の耐震性・免震機能や被災後の保健医療を中心とした支援活動等の重要性を再認識させられる機会となりました。



地震直後の阿蘇医療センター各部署職員の活動

熊本地震発生後の異常事態の中で、当院の職員が様々な業務に対応し活動した状況について、各部署から報告してもらいましたのでご紹介します。

✿ 病棟看護師の報告から

H28年4月14日に熊本を襲った地震に当院のDMAT隊員が出動し帰院したのも束の間、続いての本震に阿蘇全域が襲われました。真夜中の事でもありまさか2回も大きな地震が襲ってくるとは思いませんでした。家族と避難し、その家族を残して、真っ暗な街を病院に向け車を走らせました。

病院の灯りが見えてきたときにはほっとしたのですが、院内に一步入るとそこは人で溢れかえっており、地震によって壊れた家・家具で受傷した方がたくさん来院されていました。また、当院が耐震・免震であることを住民が周知していたこともあり避難場所となっていました。

まずは入院患者さんの安否確認を行いました。病棟内は、いろんな物品が散乱しており身がすくむ思いでしたが、幸い入院患者さんには怪我もなく、勤務中のナースが患者さんのお世話と散乱した物品の片付けに追われていました。参集した病棟師長と連絡協力し合いながら大まかな役割を分担し業務を開始しました。

外来では救急で来院された方の対応をすべく、救急外来に駆けつけたスタッフとともに患者さんの対応・処置にあたりました。

多数の患者さんを受け入れ、複数の医師が診療できるように限られたスペースに診察スペースを確保しつつ対応を行いました。スタッフ数も限られている中、再びDMAT出動要請もあり医師をはじめ看護師3名を送り出しました。

南阿蘇から搬送されてくる患者さんは重症者が多く、緊急搬送もできない状況の当院に緊急入院となりましたが、高次機能病院へ搬送する可能性のある患者さんは医師と病棟師長とで把握し、翌日には緊急搬送の手配を取りました。

院内では、主要道路が寸断されたため参集できないスタッフもあり、限られたスタッフで入院・外来対応及び救急外来から入院搬送などすべて協力しながら進めていきました。発災直後は院内のエレベーターも使用できず、患者さんは全て担架で搬送し入院となりました。職種を問わずスタッフが協力し合い患者さんを安全に入院させることができました。

スタッフ間の職種をこえた連携とコミュニケーションで長時間勤務も余儀ない中、病院職員が各々の役割をお互い協力し合いながら遂行していったと思います。

✿ 放射線室・検査室

4月14日、前震発生。停電の為、MRI・アンギオ機械室の電源OFF。

4月16日、本震発生。停電⇒非常用電源でポータブル撮影のみ可能となった。CT撮影室・MRI装置の室内ユニットが倒れた。

① 1階検査室前の廊下で朝夕はミーティングを実施



4月17日、臨時補助電源にて電力供給されるようになり、一般撮影が可能になるが、CT・MRI・アンギオは故障のため使用不可であった。

4月18日、CT・MRI・アンギオのメーカーが当院へ到着し、修理対応を開始。すべての機器が復旧した。

4月19日、夜間当直体制開始。

4月20日～5月8日、日本放射線技師会・DMAT・熊本市市民病院・JMATの支援が開始された。

5月9日、当直体制を解除し、時間外についてはオンコール、休日日勤帯については日直制での対応に移行した。

✿ 透析室

4月16日の本震後の交通網遮断により、参集可能なスタッフで透析室の環境整備を行い、透析を実始した。4月17日に、南阿蘇村 白水庁舎より避難所の数十名分の透析患者受け入れについて問い合わせがあり、曜日代行 変速クールで総数12名の患者さんの受入れに対応した。4月18日、



②各室内の棚・物品が散乱



阿蘇医療圏の患者さんを中心にすべて受入れる体制を整え、3クールで対応した（受入れ患者合計20名）。4月19日より、かかりつけ医への転院調整を行い、5月30日に通常体制に戻した。

✿ リハビリテーション室

4月14日、前震後、スタッフは登院し、設備の確認。4月16日、深夜の本震直後は、参集可能な職員が登院し、阿蘇医療センターへ避難してこられた方々の対応、救急外来から病棟までの搬送業務、受付等の業務を実施した。当面の臨時的な当直、日勤勤務体制を編成し、通常業務は4月18日から徐々に再開した。

✿ 薬剤部

地震後、4月16日から薬剤部で交代勤務体制を整えた。慢性的な薬剤師不足もあり、4月28日、日本病院薬剤師会の支援により、全国から薬剤師14名の派遣支援を頂いた。また、DMAT,JMAT、救護班薬剤師より随時支援を頂いた。

③耐震棟と免震棟との接続部分の損壊



④県外からの応援ヘリによる搬送支援



✿ 栄養管理室

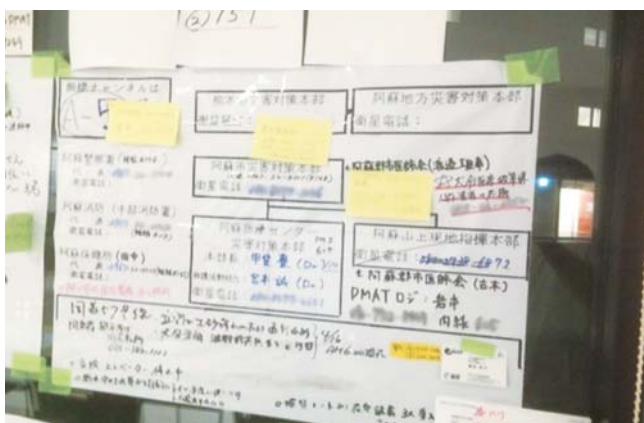
地震発生直後、厨房内被害状況と非常用電源で使用可能な機器類の確認を行う。委託職員とミーティング後、備蓄倉庫より非常食・ディスポ食器（人員不足のため業務負担軽減目的、4月21日まで）・IHコンロで対応。特別食、刻み、ミキサー、トロミ形態について全て対応した。エレベーター使用不能のため、停電復旧までの「配膳から下膳の流れマニュアル」を作成した。給食委託会社よりヘリで食糧搬送があり、カドリードミニオンで引き渡しを受けるなど多大な支援をいただいた。

地震直後の支援・状況等

地震直後から多くの支援を頂きました。院内の災害対策本部の設置をはじめ、地域や当院を支えていただいた状況を、一部ですが写真で紹介します。



災害対策本部を設置
(地域の被災傷病者の受入れ)



朝夕の院内ミーティング



電力供給支援 (四国電力、九州電力)



衛星通信アンテナの設置支援
(スカパーJSAT(株) 宇宙・衛星事業本部)



医療機関からの支援



諏訪中央病院（長野県諏訪市）



諏訪中央病院（長野県諏訪市）



かりゆし病院（沖縄県石垣市）



熊本大学医学部附属病院

医療関係多職種の方の支援

医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士
熊本市市民病院（看護師）、公立玉名病院（看護師）



医療関係多職種の方の支援

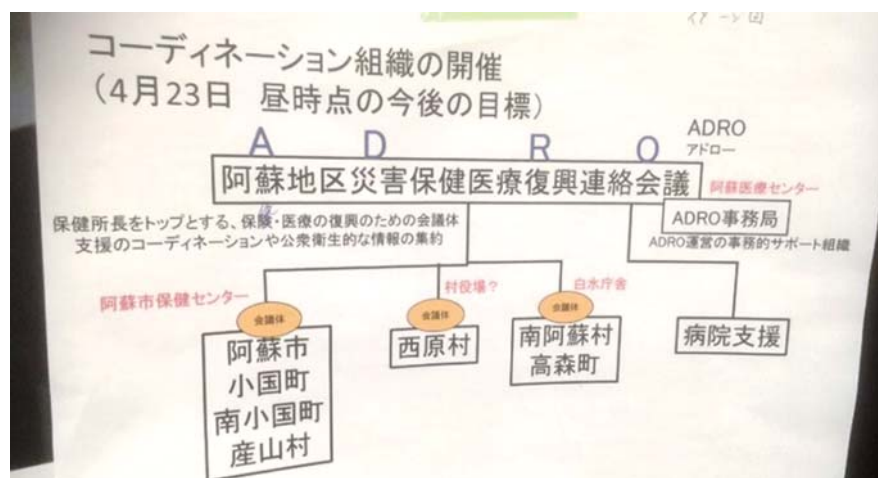
医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、
理学療法士、熊本市市民病院（看護師）、公立玉名病院（看護師）

DMAT（災害派遣医療チーム）の拠点を阿蘇医療センター講堂に設置



本震直後、国内各方面から災害医療支援チームが集結
（当院から、被災地及び避難所の救済活動を展開）

各 DMAT のメンバー：撤収時に撮影



活動可能日	各 AM	各 AM	各 AM	各 AM	各 AM	各 AM
4月23日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
4月24日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
4月25日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
4月26日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
4月27日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
4月28日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
4月29日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
4月30日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月1日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月2日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月3日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月4日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月5日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月6日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月7日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月8日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月9日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月10日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月11日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月12日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月13日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月14日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月15日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月16日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月17日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月18日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月19日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月20日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月21日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月22日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月23日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月24日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月25日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月26日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月27日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月28日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月29日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月30日	AM	AM	AM	AM	AM	AM
5月31日	AM	AM	AM	AM	AM	AM



ADRO（阿蘇地区災害保健医療復興連絡会議）の設置
阿蘇圏域の市町村および各医療機関への保健・医療の復興支援を展開

多数の県外からの救急ヘリによる搬送支援
(阿蘇医療センターヘリポート 離発着)

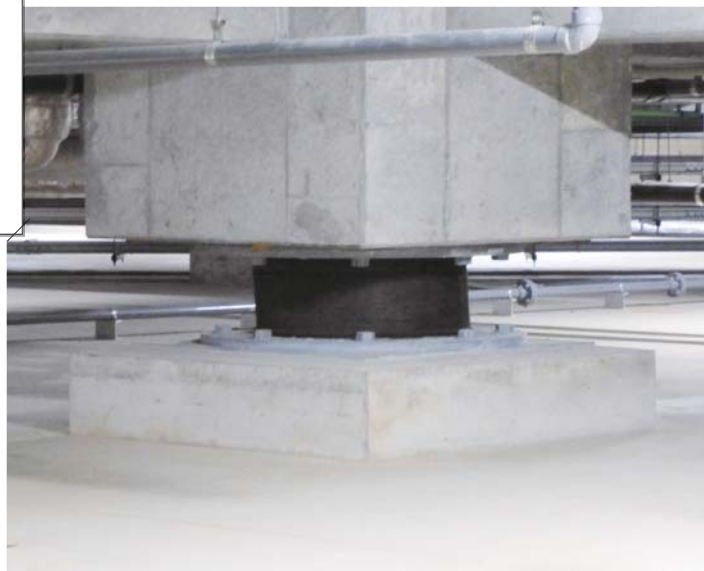


感染対策チームの活動
長崎大学、熊本大学（川口准教授）の
支援チームによりノロウイルス感染症
の封じ込めに成功
(当院の柿本感染対策看護師)

DVT（エコノミークラス症候群）
対策チームの活動
福井大学、かりゆし病院の
チームによる支援活動

免震設備

当院の中央診療棟・病棟を支えている免震装置です。（72基を設置）
患者さんや職員を含めて、建物・高度医療設備・機器を守ってくれました。



自家発電設備



雑用水貯水槽



上水貯水槽



耐震棟と免震棟との接続部分の
破損



災害対応型カップ販売機
(大活躍しました)

阿蘇医療センター 診療体制

外来診療体制

平成28年10月1日現在

診 療 科		月	火	水	木	金	土
内 科	午 前	湯本 信也 宮本 誠	宮本 誠 樋口 泰雄	湯本 信也 林 広隆	宮本 誠 林 広隆	湯本 信也 樋口 泰雄	
	午 後	宮本 誠	湯本信也(HOT外来のみ) 佐藤英明(第2、4火曜のみ)	休	休	休	
脳神経外科	午 前	甲斐 豊	甲斐 豊	休	甲斐 豊	甲斐 豊	
	午 後	休	休	休	休	休	
循環器内科	午 前	由布 哲夫	由布 哲夫	永吉靖央/老松 優 熊大病院循環器内科	平川 今日子 熊大病院循環器内科	永吉 靖央	
	午 後	由布哲夫(睡眠時無呼吸症候群外来のみ14:00~16:00)	休	休	休	休	
小 児 科	午 前	橋山 元浩	興梠 雅彦 熊大病院小児科	橋山 元浩	橋山 元浩	橋山 元浩	
	午 後	橋山 元浩	興梠 雅彦 熊大病院小児科	橋山 元浩	橋山 元浩	橋山 元浩	
神 経 内 科	午 前	渡邊 裕文	休	渡邊 裕文	渡利 菜里 熊大病院神経内科	休	
	午 後	休	休	休	渡利 菜里 熊大病院神経内科	休	
整形外科	午 前	休	松下 紘三 熊大病院整形外科	休	湯上 正樹 熊大病院整形外科	休	
	午 後	休	松下 紘三 熊大病院整形外科	休	湯上 正樹 熊大病院整形外科	休	
リハビリ テーション科	午 前	甲斐 豊【通院リハ】	松下紘三【通院リハ】	渡邊裕文【通院リハ】	湯上正樹【通院リハ】	甲斐 豊【通院リハ】	
	午 後	甲斐 豊【通院リハ】	松下紘三【通院リハ】	渡邊裕文【通院リハ】	湯上正樹【通院リハ】	甲斐 豊【通院リハ】	
消化器外科	午 前	休	中川 真英	休	中川 真英	休	
	午 後	休	近本 亮(第3火曜のみ) 熊大病院消化器外科	近本 亮(第3水曜以外) 熊大病院消化器外科	休	休	
リウマチ 膠原病内科	午 前	休	休	中村 正(第3水曜のみ) くまもと森都病院	休	休	
	午 後	休	休	中村 正(第3水曜のみ) くまもと森都病院	休	休	
乳腺内分泌外科	午 前	休	休	休	休	休	
	午 後	休	休	岩瀬弘敬(第1水曜のみ) 熊大病院乳腺内分泌外科	休	休	
糖尿病・代謝 ・内分泌内科	午 前	休	休	休	休	小野 薫(第2・4金曜のみ) 熊大病院代謝内科	
	午 後	休	休	休	休	小野 薫(第2・4金曜のみ) 熊大病院代謝内科	
腎 臓 内 科	午 前	休	休	休	休	休	三浦 玲(第1土曜のみ) 熊大病院腎臓内科
	午 後	休	休	休	休	休	

総合診療

総 合 診 療 (新患・健診)	午 前	樋口 泰雄	宮本 誠	林 広隆	永吉 靖央 宮本 誠	渡邊 裕文
	午 後	樋口 泰雄	宮本 誠	林 広隆	永吉 靖央 宮本 誠	渡邊 裕文

波野診療所

診 療 科		月	火	水	木	金
内科・外科	午 前	高野病院	渡邊 裕文	樋口 泰雄	休	林 広隆
	午 後	高野病院	渡邊 裕文	樋口 泰雄	休	林 広隆
整形外科	午 前	休	休	休	熊本整形外科病院	休
	午 後	休	休	休	休	休
歯 科	午 前	高宗 康隆	高宗 康隆	休	高宗 康隆	高宗 康隆
	午 後	高宗 康隆	高宗 康隆	休	高宗 康隆	高宗 康隆

病床の運用について

当院では病床の一部を、7月から包括ケア病棟として、また9月から開放型病床として運用することとしました。
包括ケア病床は、急性期治療後の患者さんや病状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設への復帰支援を行う病床です。開放型病床は阿蘇郡市医師会及び阿蘇郡市歯科医師会の先生方と連携し、当院の主治医と共同で入院加療・検査・診療を行うことができる専用の病床です。

包括ケア病床・開放型病床の運用については、阿蘇医療センター地域医療連携部(☎0967-34-0463)で担当しております。

熊本地震に伴う特殊外来の開設

小児 PTSD
(心的外傷後ストレス障害)
外来

小児特殊疾患外来

神経難病外来

期間：平成28年8月～平成29年3月

診療科	診療日	受付時間	診療時間	診察医
神経内科（神経難病）	第1木曜日	13時～15時30分	14時～16時	渡利 茉里 (熊本大学医学部附属病院)
小児科（小児の心のケア）	偶数月第4水曜日	9時～11時 13時～15時	10時～12時 13時～16時	上土井貴子 (熊本大学医学部附属病院)
小児科（特殊疾患）	奇数月第2木曜日 偶数月第2木曜日	8時30分～11時30分 13時～16時30分	9時～12時 14時～17時	鋤田 直美・岩井 正憲 (熊本大学医学部附属病院)
リウマチ膠原病内科	第3水曜日	8時30分～11時30分 8時13時～16時30分	9時～12時 14時～17時	中村 正 (くまもと森都総合病院)
乳腺内分泌外科	第1水曜日	13時～16時30分	14時～17時	岩瀬 弘敬 (熊本大学医学部附属病院)
糖尿病・代謝・内分泌内科	第2・4金曜日	8時30分～11時30分 8時13時～16時30分	9時～12時 14時～17時	小野 薫 (熊本大学医学部附属病院)
睡眠時無呼吸症候群外来	毎週月曜日	14時～15時30分 (事前予約が必須)	14時～16時	由布 哲夫 (阿蘇医療センター)

※ 休診・診療時間など予告なく変更となる場合もありますので、電話予約（☎34-0311）のうえご来院ください。

地域包括ケア病床の開設

平成28年7月1日から「地域包括ケア病床」を21床開設しました。

地域包括ケア病床とは…

急性期治療後の患者さんや病状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設への復帰支援を行う病床です。

地域包括ケア病床での退院支援…

心身が回復するよう、医師や看護師、病棟専従のリハビリテーション科のセラピスト等により、在宅復帰に向けての治療・支援を行うと同時に、病棟専従の相談員が患者さんの退院支援、退院後のケアについてサポートいたします。

開放型病床の開設

平成28年9月1日から「開放型病床」を5床開設しました。

開放型病床とは…

かかりつけ医（登録医）の先生が入院の必要性があると判断した場合に、当院の開放型病床を利用して、当院の主治医と共同で入院加療・検査・診療を行うことができる専用の病床です。

退院後は引き続き、かかりつけ医の先生のもとで診療を受けることができるので、入院時と退院後を切れ目のない医療で結ぶことができ、安心して継続した治療を受けていただけます。



新入職員紹介

薬剤師

薬剤部

西 千春

4月から薬剤部に配属になりました。薬剤師としても社会人としても1年目で未熟な面が多いですが、地域医療に貢献できるように精一杯頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いしひます。



薬剤師

薬剤部

福山 萌

4月から薬剤部に配属になりました。慣れないことも多いですが、沢山のことを学び、地域医療に貢献できるよう努力していきたく思ひております。よろしくお願いしひます。



医師（内科）

診療部

林 広隆

4月から阿蘇で勤務させて頂ひております。まだまだ未熟ですが、阿蘇地域でのみなさまの健康のお役に立てるよう頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願いしひます。



医師（内科）

診療部

樋口 泰雄

兵庫県西脇市立西脇病院の内科部長を退職し、7月から阿蘇医療センターの内科部長に就任しました。毎週水曜日に波野診療所の診察も担当します。よろしくお願いしひます。



看護師長

看護部

石田 洋昭

4月から入職し外来で勤務させて頂ひています。外来師長という大役を仰せつかる事となり責任の重大さに身の引き締まる思ひです。地域の皆様が安心して外来受診ができる様に精一杯尽くしていきたいと思ひます。



薬剤部長

薬剤部

近藤 元三

薬剤師として病院勤務38年目です。阿蘇が大好きで4月から医療センターに勤務しています。地域の皆様方の健康維持を支援できますように頑張っていひます。よろしくお願いしひます。



看護師

看護部

種子野 ふみ

4月より救急外来に配属となりました。阿蘇に転居したばかりで慣れないことも多いですが、笑顔と感謝の気持ちを忘れず看護師として成長していけるよう行動していきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いしひます。



薬剤師

薬剤部

佐藤 みづき

薬剤部で薬剤師として働かせて頂ひたします。まだまだ未熟でご迷惑をおかけするかと思ひますが、地域医療に貢献し、皆さんに信頼される薬剤師として働けるよう頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願いしひます。



看護師

看護部

池田 照美

病棟での経験が未熟な私ですが、患者さんに寄り添った看護をしていきたいと思ひます。また、医療チームの一員として責任ある看護の提供ができる様日々研鑽していきたいと思ひてますので、よろしくお願いしひます。



薬剤師

薬剤部

森 まりえ

初めまして。今年、大学を卒業し、薬剤師として入職しました森と申します。不慣れなところもありますが精一杯頑張ります！地域医療に貢献できるよう努めていきたいと思ひます。よろしくお願いしひます。



看護師

看護部

村瀬 陽子

4月1日より3階病棟に配属となりました。早く業務を覚え、地域の皆様に貢献できるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いしひます。





看護師

看護部

寺村 とくみ

今回の熊本地震で長年勤めた阿蘇立野病院が休院となり、6月より当院3階病棟に勤務しております。パソコンが苦手で苦慮していますが、頑張って皆さんについていきたいと思っています。よろしくお願いします。



診療放射線技師

医療技術部 放射線室

岩尾 拓磨

5月から勤務させて頂いております。放射線技師として1年目であり、まだまだ未熟ですが、阿蘇地域のみなさまのために頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。



看護師

看護部

村山 直子

6月から入職しました村山です。まだ不慣れな点も多いですが、阿蘇医療センターの一員として患者さまのお役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



理学療法士

医療技術部リハビリテーション室

小山 謙志

4月、理学療法士として入職しました。急性期の医療として、まずはリスク管理の徹底、安全第一でリハビリを行い、また、自分なりの処方を患者さんに提供できるよう、知識も増やしていきたいです。



看護師

看護部

竹森 弘美

6月から2階病棟で勤務させて頂いています。地元阿蘇で働けることを光栄に思います。今までの経験を活かし、地域医療に貢献できるように日々努力していきたいと思っています。よろしくお願いします。



波野診療所事務長

事務部

碓井 東

この度波野診療所事務長として配属になりました、碓井（うすい）と申します。地域医療現場の診療所ですが、素晴らしい医療を受診できる喜びを多くの方に伝え、利用者様に憩いと安心を提供できるように努めて参りたいと思います。



看護師

看護部

小手川 圭

今回の震災の影響で7月から看護師として勤務させて頂いております。今までの経験を活かしながら阿蘇の地域医療に貢献できたらと思っています。宜しくお願い致します。



医事課

事務部

高濱 朋基

4月1日付、医事課採用になりました高濱朋基です。1日でも早く業務に慣れ、市民の皆様に信頼され愛される病院づくりを心掛けていきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



看護師

看護部

岩尾 美幸

7月より4階病棟にて勤務させて頂いております。緑あふれる大好きな阿蘇の麓で働けることを嬉しく思っています。阿蘇の地域医療に微力ながら貢献できるよう日々頑張っていきたいと思っています。宜しくお願い致します。



総務課

事務部

城 貴巳彦

4月の異動にて当院の事務部総務課に配属となりました。地域の皆様に信頼される病院として、少しでもお役に立てればと微力ながら一生懸命仕事に邁進していきますので、よろしくお願い致します。



看護師

看護部

松本 英梨加

3階病棟に勤務になりました松本です。まだ不慣れな点も多いですが、阿蘇医療センターの一員として患者さまのお役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



医事課

事務部

中林 秀美

4月1日より医師事務作業補助者に任命されました中林秀美と申します。医師の事務作業軽減に少しでも力になれるよう精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

トピックス

特別臨床実習を終えて

熊本大学医学部医学科5年 三角 雅裕

今回の地域医療実習では、大学病院ではあまり経験することのない疾患が学べたり、診療所での医療や訪問診療にも同行させていただいたり、大変勉強になりました。

阿蘇医療センターの皆様にはとても良くしていただき、楽しい3週間が過ごせました。ありがとうございました。



熊本大学医学部早期臨床体験実習

3月7日（月）～3月9日（水）の3日間、臨床実習がまだ行われていない医学科3年生に対し、学外の臨床の現場を見学することで、学生の臨床医学・医療に対するモチベーションを喚起し、地域医療に対する関心と理解を深める第一歩として、熊本大学医学部が平成27年度から始めたもので、4名の学生が当院を希望し臨床体験実習を行いました。



『出前講座』に伺いました

3月8日（火）阿蘇ファームステイ受入協議会（事務局：〈公財〉阿蘇グリーンストック）の衛生・安全管理講習会に「応急手当方法」と題して、ファームステイ（小・中学校の農家民泊）時に、やけど、腹痛、発熱、アナフィラキシーショックが起こった場合の応急手当について、救急外来の相原希看護主任（当時）が講話を行いました。



3月9日（水）宮地の古神2・3区老人会（長寿会）から「院長先生のお話を聴きたい」との要望を受け、「阿蘇医療圏の現状と将来の展望」と題して講演を行いました。22名の参加者は院長専門の脳神経外科に関する話などを熱心に聴講されました。

熊本医学会奨励賞受賞

循環器内科部長兼地域医療連携部長 永吉 靖央



3月16日（水）第89回熊本医学会総会において、熊本医学会の西村泰治会長（熊本大学大学院生命科学研究部長）から、本院の永吉靖央医師に「平成27年度熊本医学会奨励賞」が授与されました。循環器内科の専門医として、地域医療への貢献のみにとどまらず、研究面においても秀逸した実績が評価され、社会活動部門での受賞です。

受賞を記念して「熊本県における医師の地域偏在解消および二次医療圏単位の診療連携体制の構築」と題して講演会（写真）が開催されました。

平成28年度 阿蘇医療センター糖尿病教室年間計画

日 程	時 間	テーマ		講 師
		食事会・調理実習	医師・コメディカル講話	
4月19日(火)	12:40～13:10 13:15～14:00	『1食600kcalの食事試食』	『糖尿病とは』	糖尿病連携医
5月20日(金)	10:00～12:00	『食物繊維たっぷりの食事』 ～1食5g以上を目標に～	『食物繊維の働きについて』	管理栄養士
6月24日(金)	12:40～13:10 13:15～14:00	『1食600kcalの食事試食』	『糖尿病の合併症について』	代謝内科医師
7月15日(金)	10:00～12:00	『減塩でおいしい食事』 ～1食3g以下を目標に～	『塩分制限の工夫』	管理栄養士
8月19日(金)	12:40～13:10 13:15～14:00	『1食600kcalの食事試食』	う歯（虫歯）と歯周病 口腔ケアについて	歯科医師 衛生士
9月16日(金)	10:00～12:00	『パンメニューの考え方』 ～炭水化物に偏らない食事～	『主食の交換方法について』	管理栄養士
10月21日(金)	12:40～13:10 13:15～14:00	『1食600kcalの食事試食』	糖尿病と脳卒中 運動療法について	脳神経外科 理学療法士
11月18日(金)	10:00～12:00	『おせち料理』 ～新年の初めにコントロール～	『1日の必要エネルギーの配分』	管理栄養士
12月16日(金)	12:40～13:10 13:15～14:00	『1食600kcalの食事試食』	心疾患と糖尿病 お薬の正しい飲み方	循環器医師 薬剤師
1月20日(金)	10:00～12:00	『消化のよいバランスメニュー』 ～胃腸を休めましょう～	『人工甘味料について』	管理栄養士
2月17日(金)	12:40～13:10 13:15～14:00	『1食600kcalの食事試食』	糖尿病網膜症 『シックディについて』	眼科医師 看護師
3月17日(金)	10:00～12:00	『糖尿病性腎症の食事』 ～1食3g以下を目標に～	『たんぱく制限・ カリウム制限について』	管理栄養士

場 所：（4月・6月・8月・10月・12月・2月）・・・阿蘇医療センター 1階 講堂
（5月・7月・9月・11月・1月・3月）・・・阿蘇郡市医師会館内調理室

対 象：どなたでも参加していただけます。 ※1週間前までにお申込みをお願いします。

参加費：講義時は昼食をご用意しますので、代金として患者会員300円・非患者会員500円
料理教室時は材料代を実費請求いたします。

編集後記

平成28年熊本地震は未曾有の大災害となりましたが、本院の免震・耐震構造、スタッフの尽力により、災害拠点病院として医療体制の確保と役割は果たせたのではないかと思います。余震は少なくなってきているようですが、地震が起こした様々な課題は多岐に渡り継続しております。共に乗り越えていきましょう。

今回の広報誌は、地震に関してのご報告も兼ねて、また、多くの支えに感謝の意を表するとともに今後に資するものとしたという思いもあり、前段の頁に地震直後の当院の対応状況や県内外からの支援活動の状況等に関する写真を掲載いたしました。

平成28年10月 阿蘇医療センター広報委員会

アクセス

🚗 九州自動車道熊本ICより車で約1時間10分

🚗 あそ熊本空港より車で約1時間5分

🚶 JR 豊肥本線 阿蘇駅より徒歩10分



阿蘇市病院事業 阿蘇医療センター

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1266

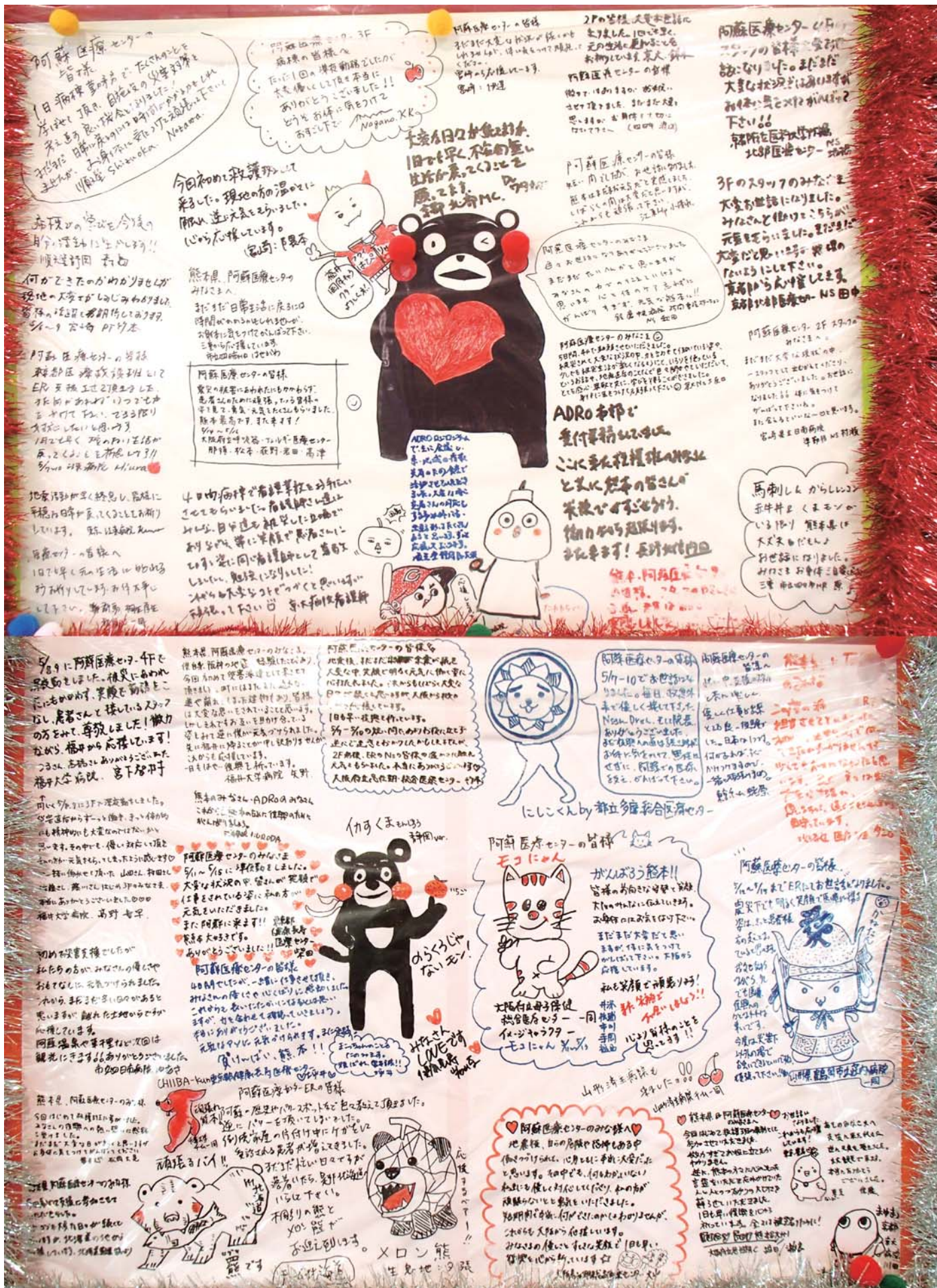
TEL0967-34-0311(代) FAX0967-34-2273

http://www.aso-mc.jp E-mail info@aso-mc.jp

阿蘇医療センター 地域医療連携部

TEL・FAX 0967-34-0463 (直通)





今回の地震では、DMAT（災害派遣医療チーム）、JMAT（日本医師会災害医療チーム）、ADRO（阿蘇地区災害保健医療復興連絡会議）、各医療機関等々、全国各地及び県内の多くの方から支援をいただきました。写真の寄せ書きは、活動を終えて阿蘇を去られる時に、励ましや感謝の想いをそれぞれ記して頂いたものです。阿蘇医療センターの総合受付の案内板に掲示しておりますので、ご来院の際にはぜひお目通しください。